第５学年　特別の教科　道徳（生活安全）　　　　　　　　場所　５年２組教室

情報を守り、安全に気を付けよう

指導者　山口　実夏子

**１　単元の目標**

スマートフォンや携帯電話等を使用するときの危険性を知り、情報を発信するときに責任を

もつことの大切さに気付くことで、安全に利用できるようにする。

**２　新学習指導要領との関連**

道徳教育で育成を目指す資質・能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 道徳性を養うための学習を支える要素 | | 道徳教育・道徳科で育てる資質・能力 |
| 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成 | 児童一人一人の人間としての在り方・生き方についての考え（思考） | 人間としてよりよく生きようとする道徳性 |
| 道徳的諸価値の意義及びその大切さなどを理解すること | 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めること | 自己の（人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性 |

**３　ねらいとする価値について**

**【Ｃ 規則の尊重】**

法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

**【教材の概要】**

投稿された写真の面白いものに投票し合うゲームでランキングを競う省吾。なかなかランキングが上がらない省吾は、面白い写真を探す中で、友達と女の子が歩いているところを撮影して投稿する。その写真は校内にも広まり、その友達からも責められてしまう。

**【この教材を通して育てたい力】**

写真には肖像権があり、承諾なしに投稿することは許されない。また、インターネット上に投稿した写真を取り戻すことは不可能であることに気付かせたい。そのため、投稿した画像に、個人を特定する情報が含まれていると犯罪に巻き込まれる危険性があることを分からせたい。

**４　安全教育の視点に迫るための手だて**

実話をもとにした教材を使用することにより、ＳＮＳ上のトラブルを自分にも起こり得る身近な問題として捉えさせる。

**５　指導計画（２時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○主な学習活動 | ◎指導上の留意点　■評価  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| １ | 〇友達とＳＮＳのやり取りをしているときに起こり得る危険について考える。  〇自分が言われると嫌な言葉について考え、話し合う。 | ◎危険予測の場面において実話をもとにした教材を提示することで、児童がＳＮＳ上でのトラブルを自分のこととして考えられるようにする。  ■ＳＮＳにおける文字だけのコミュニケーションの特性を理解し、情報を発信するときの留意点について考えている。 |
| ２  （本時） | ○インターネット上に画像を投稿することについて考える。  ○インターネット上に画像を投稿することの危険性について理解する。 | ☆写真を撮影したり、投稿したりするときは、本人に許可を取ること、個人が特定されないかをよく見極めることを押さえたい。  ☆インターネット上に投稿した画像は、再投稿、保存等してしまい、取り戻せないことを押さえる。  ■インターネット上に画像を投稿することの危険性を理解し、情報を発信するときに気を付けることについて考えている。 |

**６　本時の展開 （２／２）**

**（１）ねらい**

インターネットに、一度投稿してしまった画像は取り戻すことができないことに気付く。ま

た、画像に個人を特定する情報などが含まれると、犯罪に巻き込まれる危険性があることを知り、情報を発信するときに気を付けることについて考える。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動  ・予想される児童の反応 | ◎教科の留意点　■評価（評価方法）  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| ○日常生活でゲーム機やスマホを使って写真を撮ったことがあるか、振り返る。  ・LINE、Facebook、Twitter、Instagram、Tiktokなどに写真を載せたことがある。  ・ゲームのアバターを使ったことがある。  ○本時の学習課題を知る。  インターネット上に画像を投稿することについて考えよう。  ○動画を視聴する。  ○動画の主人公はその後どうしたかを考える。  　・もっと面白い写真を投稿した。  　・変顔を投稿した。  　・他の人の嫌がりそうな画像を投稿した。  ○どうして、クラスのみんなが画像のことを知っていたかを考える。  　・みんながその画像を見たから。  　・画像を見た子が印刷してきたから。  ○登場人物が投稿前に考えた方がよかったことは何か、考える。  　・写っている人に許可を取ること。  　・個人が特定されていないか確認すること。  ・誰かが嫌な気持ちになっていないか考えること。  ○インターネット上に画像を投稿することには、どんな危険性があるか考える。  　・写真が知らない人にまで広がってしまう。  　・たくさんの人が見てしまい、写真に写っている人が傷付いてしまう。 | ◎ポイントを上げるために、手段を選ばず写真を投稿する主人公の気持ちに共感させる。  ☆投稿ゲームを見ていない児童にも広まっていることに気付かせる。  ☆写真を撮影したり、投稿したりするときは、本人に許可を取ること、個人が特定されないかをよく見極めることを押さえる。  ☆写真には、撮影場所の位置情報や、撮影した時間、個人や場所を特定できるものが含まれていることを押さえる。  ☆インターネット上に投稿した画像は、再投稿、保存等してしまい、取り戻せないことを押さえる。  ■インターネット上に画像を投稿することの危険性を理解し、情報を発信するときに気を付けることについて考えている。（ワークシート） |